



みんなでつなごう！支えあいの輪！  
～生活支援コーディネーター通信～



第19号  
令和5年2月発行

高崎市生活支援  
コーディネーター  
通信

# めざせ！ワンハート

## みなさまへ

梅のつぼみもふくらみ、春の訪れが待ち遠しいですね。新型コロナウイルスの勢いもなかなか収まらず、ウィズコロナの生活が続いています。令和4年度も、残すところあと2か月になります。引き続き、手洗い、うがい、手指消毒、マスクの着用等の感染対策をしながら、協議体活動を頑張っていきましょう。まだまだ寒い日が続いていますが、どうぞお体にお気を付けてください。



## 12・1月の第1層協議体の話し合いの内容



12月

### <住民企画会議>

- ①第1層、第2層住民メンバーの連携
- ②第2層生活支援コーディネーター（住民SC）の役割や必要性について意見交換
- ③第2層協議体住民メンバー間の情報交換  
→ つながりや学び合いの場を作ろう

### <事業推進会議>

- ① 勉強会：有償ボランティア活動の有償性について
- ② 事例検討会：佐野地区「佐野たすけあい隊」発足までのあんしんセンターのバックアップ体制

1月

### <住民企画会議>

- ・住民SCの役割や必要性について意見交換  
→ 来年度より、第2層協議体住民メンバー間の意見交換の場を作る  
→ 住民SCを設置できそうな地区からモデル的に設置する

### <事業推進会議>

#### 勉強会・意見交換会

- ・ニーズの掘り起こしと担い手の発掘（山梨県南アルプス市）
- ・目指す地域像の策定及び実現のための工程表（群馬県高崎市）
- ・支え合いについて説明DVD（埼玉県）



支え合いや協議体についてわかりやすくアニメで説明  
※興味のある方は  
あんしんセンターへ

## 第1層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」**、**「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第1層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

## 第1層協議体周知活動 既存の情報誌を活用

【経緯】第1層協議体では、「周知活動が足りていない」という課題について意見交換を行い、既存の情報誌を活用した周知活動をしてみようということになりました。そこで、「群馬県老人クラブ連合会会報誌『みーつけた』2022年11.12月合併号」に、令和4年10月13日（木）に開催した第2層協議体情報交換会の記事を掲載していただきました。

【今後】第1層協議体では、既存のイベントを活用した周知活動やメディアを活用した周知活動等を今後も検討していきます。

地道に周知活動を行いながら、協議体について多くの方に知っていただき、理解者や協力者を増やしていきましょう。



群馬県老人クラブ連合会会報誌 シニアを楽しくする情報誌「みーつけた」2022年11.12月合併号 平成出版

## 倉淵地区

## 他市町村「南牧村協議体」との情報交換会



倉淵の協議体へ見学に行こう！

同じような地域の協議体の様子を  
知りたい



南牧村協議体



倉淵地区協議体

意見交換会  
開催



情報交換で得た  
内容を今後の  
活動に活かそう！



倉淵地区協議体



倉淵の  
みなさん



南牧村の  
みなさん

【目的】他市町村の協議体メンバーとの情報交換を通じて他市町村の活動を  
知り、自分の地域に活かせるヒントを得る。

【経緯】南牧村の協議体メンバーより、人口規模や高齢化率等、地域状況が  
似ている倉淵地区の協議体を視察し、情報交換を行いたいと相談が  
あり、協議体会議開催日である12月22日に南牧村の協議体メンバー  
との情報交換会を実施しました。

【様子】倉淵地区の協議体会議の見学を行った後に、倉淵地区協議体メンバーから  
「くらしくらぶ」の活動の様子について紹介しました。その後、住民同士で  
介護予防のサロンについての意見交換を行いました。お互いの地域の様子や  
協議体の様子について意見交換ができ、今後の協議体活動に活用できそうです。



## 中居地区

### 中居お助け隊 買い物支援活動



←買い物する品物について 依頼者宅にて確認



- 【目的】地域のちょっとした困り事を解決する。
- 【様子】まず、ご依頼者さん宅へ購入する物品のメーカー等を確認しました。その後、買い物中に、依頼物品に疑問が出たため、あんしんセンターへ連絡し、再度ご依頼者さんに確認をしました。最後にお釣の確認等も行い、サインもいただき無事活動が終了しました。買い物の内容はトイレットペーパーやティッシュ等大きなものが中心でした。
- 【今後】今後もあんしんセンターと連携しながら、助け合い活動を実施していきます。

## 新町地区

### 区長会向け勉強会



協議体メンバーから → 区長へ協議体活動の経緯を説明

- 【目的】協議体について区長会の理解を得て、新町全体で協議体活動を推進する体制づくりを目指す。
- 【経緯】協議体会議で「活動を理解してくれる人や担い手を増やすこと」「話し合いが活発に行えるよう第2層住民メンバーを増やすこと」が課題としてあげられました。そのため、地域の各種団体の理解を深めるために勉強会を開催することになりました。
- 【様子】1月10日（火）に区長会に向けた勉強会を開催し、SCより協議体について説明した後に、新町地区の活動について協議体メンバーから説明しました。協議体の理解が深まり、今後の協議体活動に協力体制を築くことができました。
- 【今後】2月に民生児童委員会、婦人会に向けた勉強会の開催を予定しています。

## 佐野地区

### 居場所「さのんち」オープン



みんなが集えて サポーターも活躍できる場所を作ろう！

居場所にできそうな場所を探そう

ぜひ、協力します！

居場所に見学に行ってみよう！



協議体



事業所の協力



居場所「八起き」「一休さん」へ見学



居場所「さのんち」オープン！

- 【目的】サポーターが活躍でき誰でも気軽に寄れる居場所をつくる。
- 【経緯】佐野地区協議体では、誰もが気軽に集まれ、サポーターが活躍できる場の必要性を議論してきました。場所を探していたところ、事業所が快く貸してくれることになりました。そこで、すでに活動をしている居場所「八起き」「一休さん」へ見学に行って、ノウハウを学び、居場所づくりの検討を重ね、「さのんち」をオープンしました。
- 【様子】1月17日に第1回目が開催されました。初日は、予想をはるかに超える地域の方が来場してくださいました。
- 【今後】毎週火曜日の10～13時 参加費 200円

## 社会資源のまとめ

第2層協議体の中で、社会資源を再確認して、資源一覧表を作成し、地域の高齢者や関係者に向けて周知活動を行っている協議体があります。今回は、北・東・西地区協議体と榛名地区協議体の活動について紹介します。

### 北・東・西地区

### 「つどい・ふれあいの場一覧」作成

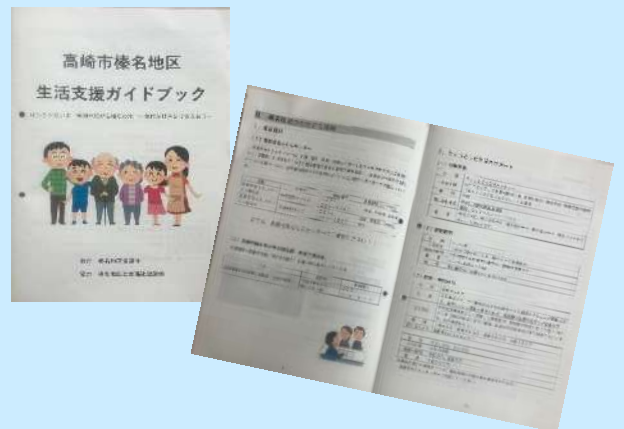


名称	住所	開催日時	開催者	TEL/FAX	備考
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第1、3日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第2、4日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第5日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第1、3日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第2、4日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第5日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第1、3日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第2、4日	市民センター	027-222-0000	市民センター
高崎市内ふれあいの場（市民センター）	高崎市内	毎月第5日	市民センター	027-222-0000	市民センター

- 【目的】地域の集いの場（社会資源）がどれくらいあるのか把握する。
- 【経緯】北・東・西地区協議体では、社会資源調査を実施していましたが、コロナ禍により作業が中断していました。協議体再開後、休止や、やめてしまった集いの場を整理し、新たに始まった集いの場をリストに加えて、12月に「つどいの・ふれあいの場一覧」が完成しました。協議体メンバーからは「4～5年北・東・西メンバーで積み上げてきたものが形になってよかった…」との声をうかがうことができました。
- 【今後】高齢者に関わりのある民生委員やケアマネージャー・居場所やサロンの主催者、長寿会等に周知をします。また、各公民館にも設置していただき、周知を行います。

### 榛名地区

### 「高崎市榛名地区生活支援ガイドブック」の作成



- 【目的】地域の社会資源を把握し、高齢者の生活に役立てる。
- 【経緯】榛名地区協議体では、地域の社会資源を協議体で再確認し、3月の完成を目指して「高崎市榛名地区生活支援ガイドブック」を作成しています。また、ガイドブックの作成と併せてホームページも作成し、協議体の活動について幅広い年代の方へ向けた周知も行います。活動を通じ、協議体メンバー内で社会資源を共有することができました。また、「ガイドブック」という冊子になったことで、第2層協議体の意義や目的を再確認するきっかけになりました。
- 【今後】完成後は、民生児童委員協議会に協力を求め、民生委員の訪問時にひとり暮らしの方や近隣の高齢夫婦暮らしの方等に手渡ししていきます。

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター  
 連絡先：☎：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」  
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

